

魚沼駒ヶ岳山行記録

目的地	駒ヶ岳（枝折峠～山頂ピストン）	期 日	平成 16 年 8 月 16 日（月）
山行人	笠原正雄単独	特 記	昔行ったことのある山

地 点 名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前 3:35 発		小千谷道の駅でトイレ長時間。
枝 折 峠 P	5:40～5:52	晴	既に 10 台位。半袖歩行。
大 明 神 小 屋	6:20	晴	銀の道と分岐し、左に登る。
明 神 峠	6:23～6:28	晴	高度計 1,215m
道 行 山 分 岐	7:14	晴	左に登って道行山へ。（本コースから外れるので行かなくても良い）
道 行 山 頂	7:25 発	晴	行く手の小倉山を望む。行動食で一服。
小 倉 山	8:03～8:10	晴	駒の湯への分岐標識。燕市からの二人連れからアメを貰う。この前後彼らと山の話をしながらか歩く。木六山悪場峠の情報を得る。
百 草 の 池	8:46	晴	荒沢岳の頂に少し雲がかかっている。燕二人と別れ先行する。
休 憩	9:10～9:20	晴	岩場で腰を下ろす。至仏・燧ヶ岳を望む。
駒の小屋前広場	9:56～10:04	薄曇	荷物を置いて山頂へ。
駒ヶ岳山頂	10:22～10:33	曇	六日町方面の沢からガスが発生して来て、八海山は指呼の間だが八ツ峰だけがガスで姿を見せない。オカメノゾキの稜線はきれいに見える。中ノ岳はガスの中。単独者 2 人が昼食中。山頂から降りる途中で登って来る燕二人と逢う。
駒の小屋前広場	10:45～11:55	曇	ベンチ一つを占有し、らくらく昼飯。湯之谷側からもガスが上がり展望無くなる。但し風は無く気分爽快。柏市からの単独者と少し会話する。
百 草 の 池	12:36	曇	
小 倉 山	1:08～1:18	薄曇	先行下山の燕二人と再び遭う。この後ときどき陽射しとなる。
休 憩	2:03～2:17	晴	立ったまま北方面の山を眺め、写真撮り。うっかり笠を踏んでしまった。
明 神 峠	2:53	晴	何度も何度も降りては登りの繰り返しでようやく最終盤。1,200m
枝 折 峠 P	3:13～3:30	晴	たっぷり汗をかいた下着まで全部着替える。
与 板 着	5:35		帰宅後夕食をしつらえる。

ほぼ 30 年前、町民登山で連れて行ってもらった山である。小出駅前宿に泊まりバスで行ったことは記憶しているけれども、山の様子は全く憶えていない。そんなことから、いつか行かねばならぬ山と気にかけていた。ただし、地図では長丁場の印象があって、のびのびにしていた。

前日、昼食時来宅の関矢夫妻に食べてもらうために、午前寺泊へ魚の買い物に行った。その帰り道、敦ヶ曾根～町軽井あたりから越後三山が良く見えた。明日登るかと思うと胸躍るかのような気分であった。

出だしから小倉山あたり迄は登降の繰り返しで嫌気も差すが、燕からの二人連れとの山の話しや、天候にも恵まれ、快適な歩行であった。また、道中所々で銀山湖・権現・荒沢岳・中ノ岳を眺め、また、至仏・燧ヶ岳・日光白根山等も目にすることが出来た。

八海山へのオカメノゾキは無理としても、いつかは檜の廊下を歩いて中ノ岳へ縦走してみたい。